

## 政 治・経 済

### 注 意

1. 問題は全部で5ページである。
2. 解答用紙に氏名・受験番号を忘れずに記入すること。(ただし、マーク・シートにはあらかじめ受験番号がプリントされている。)
3. 解答はすべて解答用紙に記入すること。
4. 解答用紙は必ず提出のこと。この問題は提出する必要はない。

### マーク・シート記入上の注意

1. 解答用紙(その1)はマーク・シートになっている。HBの黒鉛筆またはシャープペンシルを用いて記入すること。
2. 解答用紙にあらかじめプリントされた受験番号を確認すること。
3. 解答する記号・番号の○を塗りつぶしなさい。○で囲んだり×をつけたりしてはいけない。

### 解答記入例(解答がイのとき)

1	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>					
---	----------------------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------

4. 一度記入したマークを消す場合は、消しゴムでよく消すこと。×をつけても消したことにならない。
5. 解答用紙をよごしたり折り曲げたりしないこと。

I 次の設問に答えなさい。

問 1 A 国が農産物 X の輸入を禁止しているとき、A 国内の農産物 X の市場における需要曲線は  $Q = 200 - 2P$  で、供給曲線は  $Q = 0.5P$  である。ここで、Q と P はそれぞれ農産物 X の数量と価格を表す。農産物 X の輸入を許可するに際し、A 国政府は、関税をかけ、輸入を許可する前と後の農産物 X からの農家の収入の差額を補助金で補填し、その補助金には関税収入を充てる政策を実行した。ただし、A 国政府は輸入量が 0 になる関税はかけないものとする。また、輸送費や関税の徴収や補助金の交付に関する事務費用はかかるないものとする。下の文中の (1) と (2) に適切な数値を記入しなさい。解答は解答用紙(その 2)を使用しなさい。

農産物 X の国際価格が 40 で、A 国が農産物 X の輸入を開始しても国際価格には影響が無いものとする。このとき、A 国政府の関税収入額と補助金額とが等しくなる関税率は (1) % で、関税収入額は (2) である

問 2 財 Y の市場における需要曲線は  $Q = 100 - 2P$  で、供給曲線は  $Q = -20 + 2P$  である。ここで、Q と P はそれぞれ財 Y の数量と価格を表す。政府は財 Y の販売を拡大するため売り手への補助金政策を実行した。ただし、補助金の交付に関する事務費用はかかるないものとする。下の文中の (3) に適切な数値を記入しなさい。解答は解答用紙(その 2)を使用しなさい。

財 1 単位当たりの補助金が 10 のとき、補助金の総額は (3) となる。ただし、売り手は補助金の金額分だけ安く買い手に売り、政府から補助金を受け取るものとする。

**II** 次の(A), (B)の文章を読み、下の問い合わせに答えなさい。解答は解答用紙(その1)を使用しなさい。

(A) 近年、国民の健康と安全に対する意識は、急速に高まっているが、しかし歴史的に見ると、これまでに有害食品事件や薬害事件などが数多く生じてきた。有害食品事件としては、1955年、森永乳業製造の (1) に (2) が混入し、乳児 (3) 人の中毒患者をだした事件がある。また (4) 年にもカネミ倉庫会社の製造したライスオイルに (5) が混入し、多数の被害者をだした事件がある。

(B) (6) 年、アメリカのケネディ大統領は特別教書で消費者の4つの権利を示した。その4つとは、安全である権利、(7)、選択できる権利、意見を反映させる権利である。この考え方はやがて世界の消費者保護運動の基本となり、(8) 年には日本の (9) にも取り入れられるにいたった。この法律は、その後 (10) 年には消費者基本法として改正され、国民の生活の改善に大きく寄与した。また日本ではこの法律制定のみならず1970年には政府出資の特殊法人として (11) も設立され、さらに地方公共団体の行政機関である (12) と連携して、消費者保護政策を行った。さらに (13) 年には消費者行政を一元化する「司令塔」として (14) が発足し、また第三者機関として (15) が設置された。

問 1 (A)の文中の空欄 (1) ~ (5) に入る最も適切な語句を、それぞれの選択肢①～④の中から一つ選び、その数字をマークしなさい。

- |              |          |          |           |
|--------------|----------|----------|-----------|
| (1) ① 粉ミルク   | ② チョコレート |          |           |
| ③ アイスクリーム    | ④ スナック菓子 |          |           |
| (2) ① シアン化合物 | ② PCB    |          |           |
| ③ ヒ素         | ④ メチル水銀  |          |           |
| (3) ① 約 20   | ② 約 120  | ③ 約 1200 | ④ 約 12000 |
| (4) ① 1963   | ② 1968   | ③ 1973   | ④ 1978    |
| (5) ① シアン化合物 | ② PCB    |          |           |
| ③ ヒ素         | ④ メチル水銀  |          |           |

問 2 (B)の文中の空欄 (6) ~ (15) に入る最も適切な語句を、それぞれの選択肢①～④の中から一つ選び、その数字をマークしなさい。

- |                 |             |         |        |
|-----------------|-------------|---------|--------|
| (6) ① 1958      | ② 1962      | ③ 1966  | ④ 1970 |
| (7) ① 平等である権利   | ② 知らされる権利   |         |        |
| ③ 豊かになる権利       | ④ 安心に暮らせる権利 |         |        |
| (8) ① 1956      | ② 1960      | ③ 1964  | ④ 1968 |
| (9) ① 消費者契約法    | ② 消費者保護運動法  |         |        |
| ③ 消費者保護基本法      | ④ 消費者主権法    |         |        |
| (10) ① 2001     | ② 2004      | ③ 2007  | ④ 2010 |
| (11) ① 国民生活センター | ② 主婦連合会     |         |        |
| ③ 消費生活センター      | ④ 消費生活協同組合  |         |        |
| (12) ① 国民生活センター | ② 主婦連合会     |         |        |
| ③ 消費生活センター      | ④ 消費生活協同組合  |         |        |
| (13) ① 2000     | ② 2003      | ③ 2006  | ④ 2009 |
| (14) ① 環境庁      | ② 消費者庁      | ③ 行政管理庁 | ④ 総務庁  |
| (15) ① 消費安全委員会  | ② 消費行政委員会   |         |        |
| ③ 消費生活委員会       | ④ 消費者委員会    |         |        |

III

次の文章を読み、下の問い合わせに答えなさい。

アメリカとソ連という二つの超大国を中心とした自由主義陣営、共産主義陣営の間の対立関係であった冷戦は、多極化やデタントの局面を経て、(1)年のソ連によるアフガニスタン侵攻、さらに中距離核戦力(INF)のヨーロッパ配備、アメリカのレーガン政権の対ソ強硬路線により、「新冷戦」とも言われる時代を迎えた。

しかしながら、このような冷戦構造にも、1980年代後半以降変化が見られるようになった。

1985年にソ連で(2)書記長が政権を握り、民主化などの改革と、西側との協調に向けて(A)外交を開いた。米ソ間の緊張は緩和され、中距離核戦力全廃条約が結ばれるなど、両国の関係は和解へ向かった。さらに、(3)年、(4)で、米ソ首脳は冷戦の終結を確認したのである。同年、ベルリンの壁が崩壊し、その翌年にはドイツが再統一された。東欧諸国も次々に自由化し、ワルシャワ条約機構も解体した。そして、ソ連が消滅して(B)が成立した。

さらに、ヨーロッパ32カ国、アメリカ、カナダが参加した全欧安保協力会議(CSCE)の首脳会議が開かれ、欧州における冷戦の終焉を宣言する(C)が調印された。(5)年には、このCSCEは、全欧安保協力機構(OSCE)へと改組され、冷戦後の欧州の安定に寄与している。一方、欧州統合が進み、1993年には(6)によって欧州共同体(EC)から欧州連合(EU)へと発展した。

アジアにおいては、(7)年、韓国・北朝鮮が国連に同時加盟を果たしたが、欧州とは異なり、中国・台湾の対立関係や、南北朝鮮の分断の問題、北朝鮮の核兵器開発問題などの危機もあり、緊張関係が継続している。

冷戦終了後の世界は、大国間の戦争の可能性が低下し、国連安全保障理事会の活性化に伴い、国連が国際平和と安全の分野で果たす役割が増加した。環境問題など地球規模の問題解決への努力も強化された。その一方で、大量破壊兵器の問題や民族紛争など、解決の難しい問題も山積している。また、技術の普及、人の移動などの(8)の影響もあり、国境を越えた破壊・暴力活動も激しさを増

し、2001年9月にはアメリカで「同時多発テロ」が起きた。唯一の超大国として  
〔D〕主義の傾向を強めたアメリカは、2001年、アフガニスタンに軍事進攻し、さらに、2003年に国連の承認を得ないままイラク戦争を開始した。

問1 本文中の空欄 (1) ~ (8) に入る最も適切な語句、あるいは数字をそれぞれの選択肢①～⑤の中から一つ選び、数字をマークしなさい。解答は解答用紙(その1)を使用しなさい。

- (1) ① 1978      ② 1979      ③ 1980      ④ 1981      ⑤ 1982  
(2) ① フルシチョフ      ② プレジネフ  
    ③ アンドロポフ      ④ チェルネンコ  
    ⑤ ゴルバチョフ  
(3) ① 1987      ② 1988      ③ 1989      ④ 1990      ⑤ 1991  
(4) ① マルタ会談      ② ヘルシンキ宣言  
    ③ 新ベオグラード宣言      ④ ヤルタ会談  
    ⑤ ワシントン宣言  
(5) ① 1993      ② 1994      ③ 1995      ④ 1996      ⑤ 1997  
(6) ① ローマ条約      ② マーストリヒト条約  
    ③ アムステルダム条約      ④ ブリュッセル条約  
    ⑤ ハーグ条約  
(7) ① 1990      ② 1991      ③ 1992      ④ 1993      ⑤ 1994  
(8) ① 効率化      ② 統合化      ③ 産業化  
    ④ 地域化      ⑤ グローバル化

問2 本文中の空欄 (A) ~ (D) にあてはまる最も適切な語句を記入しなさい。解答は解答用紙(その2)を使用しなさい。

